

第3回茨城おみやげ大賞 検索



## 大賞・特別賞受賞商品 発表会・試食イベント

# 7月1日 月 13:30～

メディア、食品バイヤー、フードビジネス関係者の方々

先着25名様！ 試食あり！ 入場無料

◆ 会場 ◆ 茨城県アンテナショップ IBARAKI sense -イバラキセンス-

◆ 主催 ◆ 茨城おみやげコンクール実行委員会(茨城県観光物産課)

海の幸、山の幸にめぐまれ、食材の宝庫として知られる茨城県では、“茨城の「おいしい」をより多くの人に知ってもらいたい”という想いのもと、2013年より3年に1度「おみやげ」をテーマにしたコンテストを開催しています。

3回目の開催となる今回は“選んで楽しい、もらって嬉しい”をコンセプトに、155の応募商品の中から、予備審査(書類審査)、一般投票による1次審査、専門家による2次審査を経て茨城を代表するおみやげを決定いたしました。

そして、来る7月1日(月)に茨城県アンテナショップIBARAKI senseにて、大賞・特別賞受賞商品10商品の発表会・試食イベントを開催いたします。是非お越しください！

### ◆ スケジュール ◆

#### 開会のご挨拶

(茨城県観光物産課 課長・松崎達人)

#### 審査委員長のご挨拶

(有限会社良品工房 代表・白田典子氏)

#### 表彰式

#### 全体質疑応答

#### 試食タイム

大賞・特別賞受賞事業者立合いのもと、受賞商品10商品の試食をご提供いたします

※内容は予告なく、変更させていただく場合がございます。ご了承ください。



◆ 審査委員長 ◆ 有限会社良品工房 代表 <sup>ハクタ</sup> <sup>ノリコ</sup> 白田典子

結婚を機に広告代理店を退職し、家事や育児に専念していた主婦時代に機会を得て、1994年良品工房を設立。2001年、「私たちのほしいものが買えるようになるといいね」の想いから「いいものプロジェクト」をスタートさせ、独自の手法による地域商品の商品評価、モニター調査などを事業化。2010年には、産地と消費者をつなぐ「場」として、首都圏の商業施設内に地域食品を扱う直営店を出店。台所と売場、両方の経験から「プロの消費者」として地域の商品づくりに携わるほか、百貨店、商業施設などの食品小売業をクライアントに、アドバイザーや売り場づくりの提案もしている。

つくる人、売る人、買う人、三者をつなぐ新しい流通の形を実現するべく、今日も全国各地を奔走中。

石川県ブランド食材プロデューサー、総務省地域活性化伝道師、茨城おみやげコンクール審査委員長、長崎県ブランド農産加工品認証制度四季畑審査員。  
※その他、全国各地での講師、審査員、アドバイザー等多数

